

コネクター一覧 AND、OR、BUTNOT は大文字・小文字いずれも可		
記号・書式	意味	入力例
AND 空白・& で代用	両方を含む	解雇 権利濫用 無効
OR	いずれかを含む	解雇 OR 雇止め OR 雇い止め
BUTNOT	前の語は含み、後ろの語を除く	地上権 BUTNOT 法定地上権
/n nは1～255までで指定	2語が n 文字以内にある（語順は不問）	取締役 /10 注意義務
+n nは1～255までで指定	2語が n 文字以内かつ指定の語順で出現	予備的 +10 不当利得
()	優先順位の指定 違う種類のコネクターを混ぜるときは必須	(接見 OR 授受) AND (拒否 OR 拒絶)
” ”	記号・空白そのものを検索 当事者の企業名などをそのまま検索したいとき	“J.West & Co.”

/n・+n の活用シーン

AND は「2語が同じ文書の中にある」ものを探すため、それぞれの語が別文脈で登場した場合まで拾ってしまう。

ANDの代わりに /n、+n を使うと、「2語が近接していること」≡「2語が意味的につながっていること」を条件にできる。

例:「権限の不行使が違法となるか」を論じた判例を探す場合

権限 AND 不行使 AND 違法	× 別の争点でこれらの語が出る判決も多数ヒットする
権限 /5 不行使 /5 違法	○ 3語が近接＝この文脈に絞られる

検索のコツ

まず広く、そこから絞る

STEP 1 | 思いつく語で広めに検索する

すぐに思いつく語で検索し、ヒット数をつかむ。

ヒット数を確認



画面左上の「検索条件」をクリックすると、直前に入力した語を維持したまま、検索画面に戻る事が可能

STEP 2 | AND、OR、/n、+nで調整する

- ✓ 表現の揺らぎによる取りこぼしが無いように、ORで検索語を広げる。ヒットした文書を参考に、検索語に取り入れるべき表現・言い回しがないか検討する。
- ✓ ヒット数が多すぎる場合は、ANDで絞り込む。
- ✓ ANDの代わりに/n、+nを使って近接した語だけを拾うべきかを検討する。

STEP 3 | BUTNOTでノイズを減らす

ヒットした無関係の文書に共通する語がある場合は、BUTNOTで除外する。
(目当ての文書を落とさないように慎重に行う)

STEP 4 | 検索結果の並び替えを使う

判例検索では、ある程度絞り込みが出来たら、
[PowerSort(重要判例順)] または
[キーワード頻出順](関連性あるものを上位にする)
で並び替えて目当ての文書があるか確認する。

